



「当たり前」を見つめ直す

校長 牧野田 弘一

9月25日に素晴らしい天気の下、秋季大運動会を開催することができました。

私は例年、運動会の開会の挨拶を「これからの生活につながる運動会にしてほしい。」と締めくくります。

開閉会式で話をする人の目を見て聞くことができた子どもたちは、教室での学習でも集中することができます。はじけるような笑顔で体いっぱいのダンスを表現した子どもは、自分の思いや願いを自信をもって伝えることができるようになります。4点差という稀に見る接戦を繰り広げた子どもたちは、共に競い合うことで自分のもつ力を普段以上に発揮できることを経験したことでしょう。

運動会は運動会の日のためだけにあるのではなく、積み重ねた学習をその後の生活に生かすためにあります。家庭で、地域で運動会での頑張りを大いにほめていただくことで、子どもたちは更に成長した姿を見せてくれることでしょう。ぜひ認め励ましてください。



おやじ・おくふろの会の皆様、立派な緑門を作っていただきありがとうございました。

さて、毎年運動会シーズンになるとマイカーが軽トラックになります。かつて農家をしていた妻の実家から借りてきた年代物ですが、テントや土のう袋の運搬の労力を減らす優れものでもあります。何せ古い車なものですから、ギアはミッションで窓の開け閉めはレバーをくるくると回さなければなりません。借りてきてから数日はエンストさせてしまったり、走り出してからエアコンがないことに気付いて慌てて窓を全開にしたりします。毎年のこととは言え、オートマチックやパワーウインドウに慣れ切った体を順応させるのには時間を要するものです。

ところで、9月から外国籍の子ども3人が帖佐小学校の仲間になりました。毎日、教頭と交代で日本語指導をしています。そうすると普段は何気なく使っている日本語の難しさにあらためて気付かされました。例えば鉛筆の本数を数える時の「1ぽん、2ほん、3ぽん」。漢字で書くと同じ「本」なのに、前につく数字によって読み方が変わります。文章を書く時にも漢字とひらがなとカタカナが混じります。部屋の外と中で履き物を替えることも私たちにとってはごく自然な文化ですが、国が変われば習慣も異なります。

私たちは「当たり前」という言葉を使うことがあります。「〇〇できるのは当たり前」「そんな当たり前のこともできないの」と。今月で56歳になりますが、私が経験してきたことはほんのわずかな世界の中のことでしかなく、自分の中にある「ものさし」もまた小さなものでしかないのだらうと思います。

自分の中にある「当たり前」はどこで形づくられたのか、折に触れ立ち止まって考えることを大切にしたいと思います。

これからの時代を担う子どもたちに、多様な人と関わり、豊富な体験をくぐり、広い世界を見聞きすることで、大きくしなやかな「ものさし」を手にしてほしいものです。

更なる学力向上を目指して

4月に6年生を対象として実施した全国学力・学習状況調査の結果が公表されましたので、お知らせします。

学力の状況は右の表のとおりです。国語は県と同等で全国平均を上回っています。算数は県・全国平均をやや下回りました。理科は県・全国平均を上回っています。

全国学力・学習状況調査結果(%)			
教科	帖佐小	鹿児島県	全国
国語	66	66	65.6
算数	62	63	63.2
理科	69	67	63.3

今後特に伸ばしていきたい力は国語の「読む」力です。物語文の世界や人物像などを豊かに想像したり、工夫されている表現の効果を感じながら読んだりし、感じたことを友達と交流することを大切にしたいと思えます。算数では「割合」について苦手意識があることが分かりました。「果汁20%のミカンジュース500mlには何mlの果汁が入っている」など日常の具体的な場面と照らし合わせながら理解を深められるようにしていきます。

学習状況調査からは生活リズムが整っており、最後までやり遂げようとする子どもたちの姿が浮かび上がってきました。一方では自尊感情を更に高める必要があることや、自分と異なる意見を生かす力を伸ばすことが大切であると明らかになりました。

入賞おめでとうございます！

【県児童生徒作文コンクール始良市審査会】

特選 3年 横峯 ○○ さん 「あいらのおいしい水」

【始良地区小学校社会科作品コンクール】

特選 4年 仁田脇 ○○ さん

【始良市理科に関する研究記録展】

特選 3年 磯口 ○○ さん、佐藤 ○ さん
 4年 金澤 ○○ さん、福嶋 ○○ さん
 5年 里山 ○○○ さん、西田 ○○ さん
 6年 黒木 ○○ さん、仁田脇 ○○○ さん

【第15回南日本ジュニア美術展】

特選 5年 谷山 ○ さん

【帖佐小学校150周年記念絵画コンクール(未来の帖佐小学校)】

最優秀賞 3年 吉田 ○○ さん
 優秀賞 1年 鶴野 ○○ さん、2年 池田 ○○ さん
 4年 石堂 ○○ さん、5年 松本 ○○ さん
 6年 泊 ○○ さん

【始良市ことばのいずみスピーチコンテスト】

優秀賞 6年 小林 ○○ さん 「友達が教えてくれた親切」

【南日本新聞「子供のうた」掲載(令和4年9月15日)】

1年 中村 ○○ さん 「みずあそび」

【南日本新聞「ひろば」掲載(令和4年9月2日)】

八巻 ゆかり 教諭 「仲良くやっています 安心してね」

佐藤さんと金澤さんは始良・伊佐地区特選となり県の研究記録展に出品されます。また、11月20日(日)に始良公民館で開催される「サイエンスあいらんど」で中山教育基金賞が授賞されます。

10月23日(日)に始良公民館で開催される「ハートフルあいらんど」の中で、縄文杉登山で感じた親切のラリーについてスピーチをします。

10・11月行事予定

【10月】

5日(水) 避難訓練(津波想定)
 7~21日 教育相談(児童対象)
 13日(木) 陸上記録会(6年生参加)
 18・19日 身体計測
 26・27日 修学旅行(6年、28日休養措置)
 30日(日) PTA愛校作業

※ 新型コロナウイルス感染症対策のために、実施内容や時期を慎重に検討し、変更する場合があります。どうぞご理解ください。

【11月】

1~7日 地域が育む「かごしまの教育」県民週間
 1・2・4日 自由参観(午前、要事前申込)
 2日(水) 市小中合同音楽会(4年生参加)
 8~10日 集団宿泊学習(5年、11日休養措置)
 12日(土) 150周年記念式典
 15日(火) 始良市教育委員会学校訪問
 15・22日 文化芸術体験事業(4年、箏演奏)
 24日 持久走大会事前健康診断
 15~25日 教育相談(保護者対象)

メールアドレスが変わった時は

スマートフォン等のメールアドレスを変更された場合、学校からの一斉メールが届かなくなります。その場合は再登録が必要ですので、学校にご相談ください。緊急のお知らせなどを配信することがありますので、早めの再登録をお願いします。